

## 学校教育計画

- もとたちですえおさまる
- 1 校是「**本立末治**」(根本を把握することによって自ずと末がよくなる)  
(大正14年9月矢沢尋常高等小学校新築落成式に新渡戸稲造博士より寄贈されたもの)

### 矢沢中学校の根本精神

「本立末治」

「堅忍不拔」(どんな困難や誘惑にも心を動かさず耐え抜く。)

「一隅を照らす」(今いる場所や立場で全力を尽くすことでなくてはならない人になる。)

### 2 教育目標

これからの社会を創造する知性と活力のある生徒の育成

～支え合い・励まし合い・鍛え合い、共に成長し、世界ぜんたいを幸福にする力を磨く～

### 3 経営の方針

本校では、生徒が「この学校に入ってよかったと思える学校」を目指し、岩手県教育委員会学校教育指導指針、花巻市教育振興基本計画並びに花巻市学校教育指導指針を踏まえ、次の点に力を入れる。

- (1) 個性尊重の原則に立って、豊かな心とふれあいのある教室をつくる。また、「生徒指導」と「心の教育」を基盤にし、生徒相互、教師と生徒の心のふれあいを大切にした教育を心がける。
- (2) 基礎的基本的内容の定着を図り、確かな学力を習得できる授業を展開する。授業において生徒を中心に据え、わからないことを聴きあうことのできる雰囲気醸成し意欲を高め心を育てる。
- (3) 自己の課題に向き合い、困難を克服して、自己実現を目指す生徒の育成に努める。自己を見つめ、他者や社会との関わりを考え、お互いに思いやり支えあいながら努力する生徒を育てる。
- (4) 「地域の学校」との自覚を持ち、矢沢小学校との連携を密にするとともに、保護者・地域との協働を推進して学校運営にあたる。
- (5) 「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ転換し、生徒一人一人の多様な幸せ(Well-being)を実現する。一人でも多くの生徒が「学んでよかった」「努力してよかった」「自分が学んだことを使った結果、他の人を幸せにできた」と思える経験を積み重ねウェルビーイングの実現を目指す。  
※【今が楽しい(個人・現在)→これからの将来に希望をもてる(個人・将来展望)→学級や矢沢地域の人の幸せを願う(社会・共生)→矢沢中、花巻市、世界を良くしていきたい(利他性・公共・持続)】

### 4 具体化に向けて(目指す姿)

- (1) 目指す生徒像
  - ①進んで学び、自ら考えて行動する生徒
  - ②強い意志と責任を持ち、協力して充実した生活を送る生徒
  - ③健康な体と豊かな心を持ち、品格のある生徒
- (2) 目指す教師像
  - ①明るく元気で人間性豊かな教師
  - ②創造性に富み、実践力のある教師
  - ③たえず研修に努め、必要な社会性を身につける教師
- (3) 目指す学校像
  - ①けじめと活気のある学校
  - ②穏やかで温かさのある学校
  - ③信頼と感謝が満ちている学校
  - ④家庭・地域に開かれた学校

## 5 経営の重点

### (1) 学校教育目標における令和6年度の重点

	【学校教育目標】 これからの社会を創造する知性と活力のある生徒の育成 ～支え合い・励まし合い・鍛え合い、共に成長し世界ぜんたいを幸福にする力を磨く～		
	進んで学び、自ら考え て行動する生徒【知】	強い意志と責任を持 ち、協力して充実した 生活を送る生徒【徳】	健康な体と豊かな心を 持ち、品格のある生徒 【体】
生きて働く「 <u>知識及び 技能</u> 」の習得 (何を理解している か、何ができるか)	・教科の基本的な学習 内容を身に付ける指導 の充実	・自主性や自立性を身 に付ける指導の充実	・家庭と連携した取組 の充実や情報モラルの 醸成
未知の状況にも対応で きる「 <u>思考力・判断力・ 表現力等</u> 」の育成 (理解していること・ できることをどう使う か)	・課題を解決するため に、知識を活用して深 く思考し、自ら表現で きる力の育成	・他者の良さを認め、思 いやる心の育成	・健康・安全への意識向 上と安全に行動する能 力の育成
学びを人生や社会に生 かそうとする「 <u>学びに 向かう力、人間性等</u> 」の 涵養 (どのように社会・世 界と関わり、よりよい 人生を送るか)	・自ら課題を見つけ、そ れを解決するために、 粘り強く考えながら努 力しようとする態度の 育成	・苦手なことにも粘り 強く取り組む心の育成	・進んで体を動かし、体 力向上に取り組む態度 の育成

### (2) 確かな学力の定着のために

#### ① 組織的な取組

##### ア 諸調査結果の積極的活用

- ・「学力向上アクションプラン」を全教員で確認し、課題意識を持ち解決につなげる。

【参考】「学力向上アクションプラン」に基づいた取組を推進するための7つのポイント

C	調査結果の分析から学年や教科を超えた生徒の課題を洗い出している
	検証可能で明確な「学校全体で重点的に育成を目指す資質・能力」を設定し、全教職員で共有している
A	全県共通取組を学校の実態に合わせ、手立てとして取り組んでいる
P	全教職員が主体的に参画できるよう、校内の運営体制を確立している
	年間に複数回CAPDサイクルが回るよう計画している
D	設定した資質・能力の育成に向けて、全教職員が授業を中心に取り組んでいる
C	生徒の変容と教職員の取組の両面から捉えて評価している

##### イ 授業研究の活性化

- ・授業研究会や互見授業の目的、授業を見る視点等を校内で共有し、授業づくりについて学年や教科を超えて教員同士が学び合う場を設定する。
- ・ICT活用の目的や方法、場面等について学び合う場を設定する。  
※ICT支援員の積極的活用
- ・情報活用能力を教科等横断的な視点で組織的・計画的に育成する。

#### ウ 家庭学習の内容の充実と習慣化

- ・家庭学習を宿題と自主的・自発的な学習に分け、自主的・自発的な学習については、個々の学習内容や取組方法等について評価したり、アドバイスしたりしながら質的な改善を図る。また、生徒、学校、家庭の三者で連携を強化し家庭学習に取り組む。
- ・授業で学習した事柄について、理解を確かなものにするために、授業とつながりのある課題を提示し取り組む。

#### エ 言語能力の育成

- ・教育課程全体で「話すこと」、「書くこと」の指導の充実及び徹底を図る。

### ② 授業改善の推進

ア 「いわての授業づくり3つの視点」（「視点1 学習の見通し」「視点2 学習課題を解決するための学習活動」「視点3 学習の振り返り」）を「授業構成」の基盤に位置付け、授業づくりや検証に役立てる。

※1 単位時間から『単元』や『題材』など内容や時間のまとまりを見通して

※3つの視点は、学習規律の徹底と温かい人間関係のある学級づくりの上に成り立つもの

イ 各教科においては、通常行われている学習活動の質を向上させることを主眼とし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める。

ウ 「校内研修」「授業づくり講座」等を活用し授業改善に取り組む。

### ③ その他

ア 家庭学習と連動した「学習コンクール」の実施により生徒の学習意欲を向上させる。

イ テスト取組期間に「ノーメディアデー」を設定し、家庭、矢沢小学校と協力しながら生徒が家庭学習に集中して取り組む環境づくりを進める。※学期末テストに向けて

ウ 諸検定の積極的な受検を啓蒙する。

## (3) 豊かな心の育成のために

- ① 発達段階に留意した生徒理解を深め、全教職員が共通理解に立った指導を行う。
- ② 学校内外において、明るくあいさつを交わし、場に応じた言動のできる生徒を育成する。
- ③ 矢沢中学校「学校いじめ防止基本方針」について、教職員、生徒、保護者、地域で共有し、いじめの起こらない人間関係の醸成に努め、いじめの早期発見やその解消に向かうための校内体制の構築を図る。
- ④ 各種行事、日常の生活向上のための活動を通じ、自治活動ができる生徒会活動の推進をサポートする。
- ⑤ よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「道徳科」の時間を要とし、学校教育活動全体において道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ⑥ 将来を見通した進路指導と望ましい勤労観・職業観を身につけさせる。また、生き方を考えるキャリア教育については、体験活動を中心としながら全教育課程を通じて行う。
- ⑦ 復興教育の推進を行いながら、他者との関わりや自分の役割などの意識を高める。また、各種講演会やセミナー等を継続的に開催し、命について考える場を意図的に設定する。
- ⑧ 学級の係活動や毎日の清掃活動を通して勤労観を育てる。
- ⑨ 学校不適応生徒の指導においては、チームで対処する支援態勢を整えて指導に当たる。
- ⑩ 日常生活や行事への取り組みを通して、組織的活動とリーダー育成を図る。
- ⑪ 朝の10分間を有効に活用し、朝学習・朝読書に取り組む。
- ⑫ 一人一人に向き合う学級づくりと「主体的・対話的で深い学び」や「考え議論する」道徳、持続可能な開発目標（SDGs）に基づく実践により、認め合い、高め合う集団づくりを行う。
- ⑬ 生活アンケートを有効に活用し、生徒と教員の関係性を構築する。

#### **(4) 気力・体力を鍛え・健康を育むために**

- ① 家庭との連携を密にし、規則正しい生活習慣（早寝 早起き 朝ごはん）の充実を図る。
- ② 自分の体調を把握し、健康で安全な学校生活を送るための指導に努める。
- ③ 一つの目標に向かう部活動を通して、気力・体力を高め、心身の向上に努める。
- ④ 技術向上の指導と共にマナーを重視した指導に努め、連帯感・責任感・感謝の気持ちの醸成に取り組む。
- ⑤ 合同トレーニングに取り組み体力の向上に努める。
- ⑥ 栄養教諭等と連携し、食に関する正しい知識や正しい食習慣を身に付けられるよう食育教育の充実を図る。
- ⑦ 家庭と連携し栄養バランスの取れた食事と食習慣の改善を図り、健康の管理に努める。
- ⑧ 教育相談の充実と日常の観察、意図的なコミュニケーションに取り組む。
- ⑨ 新体力テストの結果を踏まえ、個々の能力に応じた体力向上の取り組みへ助言を行う。
- ⑩ 保健体育科の授業を中心に、様々な運動を経験し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図る。

#### **(5) 地域に開かれた学校づくりに向けて**

- ① まなびフェスト、各種通信、学校ホームページ等による情報の発信を積極的に行う。
- ② 授業参観や学校行事等の公開等により生徒、学校の様子を地域に発信する。
- ③ 地域行事への参加、ボランティア活動、郷土芸能の継承及び鑑賞等、地域に貢献する活動に取り組む、地域との信頼関係を深める。
- ④ 懇談会、PTA行事等を通じ地域と学校の相互理解を深める。
- ⑤ 教育活動の推進にあたり、地域における関係機関との連携を図りながら、情報交換を適宜行う。
- ⑥ 「コネクトプロジェクト」を推進し、スムーズな接続と9年間を見通した指導の展開を図る。
- ⑦ 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」と連携し地域ぐるみで生徒を育てる環境を整備する。
- ⑧ 「地域学校共同活動」を活用し、地域や保護者と連携して取り組む。

#### **(6) 学校事務の効率化、教育環境の整備のために**

- ① 文書の収受、発信等を迅速、正確に行う。
- ② 学校予算、旅費等の計画的且つ適切な執行を行う。
- ③ 各会計担当との連携を図り、円滑で効率的な会計処理を行う。
- ④ 集金内容の適正化を図るとともに、明朗で有用な予算執行を行う。
- ⑤ 施設・設備の管理、校舎内外の整備及び環境美化に努める。